

体育

教科	科目	単位数	履修年次・選択群	履修区分
体育	スポーツ概論	2	2年次・C1群	選択
使用教科書（出版社）		副教材（準備するもの）		履修の条件・連絡
基礎から学ぶスポーツ概論 （大修館）				2年次のスポーツ科学系列選択者

1 科目の目標と評価の観点

目 標		
体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
評価の観点及びその主旨		
1. 知識・技能	2. 思考・判断・表現	3. 主体的に学習に取り組む態度
多様な志向及び体力や技能等の違いの中でスポーツを継続的に楽しむことができる技能及びスポーツに関する運営や地域スポーツの推進に貢献するなど、スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解するとともに、必要な技能を身に付ける。	「する、みる、支える、知る」の多様な関わり方を通して生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現を目指し、スポーツ概論の知識を活用してスポーツの推進及び発展に必要な自己や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための基盤となるスポーツ概論の学習に、主体的に取り組む態度を養う。

2 学習計画と観点別評価項目

学年	学期	学習内容（単元・項目）	月	学習のねらい	評価の観点	
学 習 の 年 間 計 画	1 学 期	第1章 スポーツについて考えよう	1	4	・競技スポーツ、生涯スポーツの魅力に気づき、理解を深める。	1 2 3
			2	5	・時代に応じて変容する理念を理解する。	1 3
			3	5	・ドーピングによってスポーツの文化的価値が失われることについて理解する。	1 2 3
		4	5	・スポーツ産業が経済にどのような影響をもたらしているか理解する。	1 3	
		5	5	・オリンピックとパラリンピックの学習を通して、価値と課題について考える。	1 2 3	
	2 学 期	第2章 スポーツの競技力を向上させよう	1	6	・競技力を構成する要素や、技能と戦術の上達過程を学習し、自己のスポーツ経験に置き換える。	1 2 3
			2	7	・仲間と協力して各競技の練習方法と練習計画を調べ、発表する。	2 3
		第3章 体力トレーニングをやってみよう	3	9	・日本の情報戦略を学習し、情報戦略の重要性を理解する。	1 2 3
			1	10	・練習やトレーニングによる身体の変化について理解し、目的に応じたプログラムを作成する。	1 2 3
			2	11	・多様な筋力トレーニングを理解する。 ・持久力トレーニングについて理解し、目	1 2 1 2 3

# 令和5年度 シラバス

愛媛県立新居浜南高等学校

	第4章 スポーツライフのマネジメントを考えよう	1 自分の体をマネジメントしよう ・体調のチェック、ウォーミングアップとクーリングダウン ・スポーツによる四肢の外傷と障害  ・知っておきたいテーピング	12	標に適した練習方法を計画する。  ・ウォーミングアップ、クーリングダウンについて理解する。 ・スポーツ外傷や障害の予防対策について理解する。 ・怪我に応じたテーピングの巻き方を理解する。	1 3 1 2 3 1 2 3		
3 学 期	第5章 スポーツ指導者をめざそう	2 栄養でパフォーマンスを高めよう	1	・スポーツ栄養の基礎と摂取の方法について理解する。	1 3		
		1 スポーツキャリアと職業について知ろう	2	・スポーツキャリアの問題点と職業について学習し、卒業後について考える。	2 3		
		2 指導の場としての学校における体育・スポーツ活動やスポーツイベントについて知ろう		・スポーツの企画運営について理解する。	1 3		
		3 指導の場としてのスポーツクラブについて知ろう		・地域スポーツクラブについて理解する。	1 3		
		4 効果的なスポーツの指導方法を知ろう		・対象者に応じたスポーツの指導方法について理解する。	1 2 3		
学 習 評 価	観点	1. 知識・技能		2. 思考・判断・表現		3. 主体的に学習に取り組む態度	
	規 準	○スポーツの多様な意義やスポーツの推進及び発展の仕方について理解できているか。 ○スポーツの推進及び発展に必要な技能を身に付けているか。		○スポーツの推進及び発展に必要な自他や社会の課題を発見し、課題の解決に向けて思考し判断できているか。 ○課題に対して、合理的、計画的な解決に向けた自らの考えを、仲間や教師などに筋道を立てて論理的に伝えられているか。		○生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与するための学習に主体的に取り組もうとしているか。	
	手 段	・小テストや定期考査の知識問題の解答 ・実技の様子		・計画や発表の内容 ・論述レポートの内容 ・定期考査の論述問題の解答		・授業中の態度の観察 ・提出物の提出状況 ・課題、レポートへの取組の評価	
		単元末や学期末及び年次末における評価の総括方法		・授業や提出物、定期考査における「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」から総合的に評価する。			
学習上の 留意点	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査は5回実施する。教科書と学習プリントで授業を展開するので、予習復習を行うこと。</li> <li>授業で配布した学習プリントを評価するため、ノートを用意し整理すること。</li> <li>classroomで配信された課題や提出物は、必ず提出すること。</li> </ul>						